

せきかわ こうずい こ せいび
関川の洪水とその後の整備

こく どう こう つう しょう たか だ か せん こく どう じ む しょ
国土交通省高田河川国道事務所

関川の説明～昔の川の姿～

稲田橋

むかし

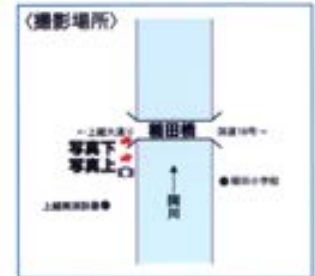
平成19年(2007)



大正初期



昭和30年代後半



稲田橋は、江戸時代には関川に架けられた唯一の橋でした。現在の稲田二丁目側には大きなケヤキの木がありました。

写真出展：左上／上越市今昔写真帖(郷土出版社 刊) 左下／戦後50年の歩み(上越市 刊)

いなだ ちく こうずい 稲田地区で起きた洪水

台風15号による

昭和56年8月水害

●概要

昭和56年8月23日、台風15号の北上にともない、関川流域では時間雨量20～30mmの強い雨が続き、3時間で100～130mmに達しました。

関川高田地点では、警戒水位を越え、河口より4km付近では計画高水位を1.0m越える出水となり、全川にわたり堤防天端いっぱいまで水位が上昇しました。



稻田橋上流左岸の写真。
増水した川の水が堤防を乗り越えて流れ出てしまいました。(越水)
稻田橋周辺は住宅が多いものの川幅が狭く、水害を受けやすい地域でした。

稲田地区で起きた洪水

台風18号による

昭和57年9月水害

●被害状況

全壊 5戸
半壊床上浸水 2,738戸
床下浸水 4,472戸
溢水 44カ所
(関川11カ所、支川33カ所)
決壊 3カ所 (いずれも支川)
浸水面積 717ha



稲田橋上空。上越南消防署や稲田小学校をはじめ、両岸の広い地域が浸水しています。
この水害では、大きな災害の復旧に適用される「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、直江津地区の河川改修とあわせ工事を行いました。

稲田橋付近

昭和52年(1977)



平成12年(2000)



昭和57年9月水害後に実施した激特事業（河川激基災害対策特別緊急事業）により、稲田橋付近は約80m程度だった川幅が約220mに広がりました。この激特事業では、高田地区で約130戸の家屋移転、稲田橋等の架け替え、学校施設移転がともないました。現在では「水辺の築校」として整備され、子供たちの自然学習や体験学習の場としても活用されています。

■平成7年7月洪水では、各地で堤防が壊れて水があふれるなど、被害が発生しましたが、**稲田地区は被害が起きませんでした。**

ていぼう こう ぼうす
堤防が壊れて水があふれた様子

たくりゅう ぼうす
濁流が川の中を流れている様子



妙高市月岡



上越市稲田

川を安全に保つための除草と点検

■堤防は、定期的に機械で除草し、細かく点検することで、ヒビが入っていないかなど、つねに安全性を確認しています。

堤防除草の様子

堤防点検の様子



川を安全に保つための除草と点検

堤防除草で活躍するラジコン草刈り機

- ラジコンにより機械を運転するので、安全に作業ができます。
- 1. 8mの広い幅で草を刈ることができます。
- 平らなところだけでなく、堤防の斜面でも草刈りができます。

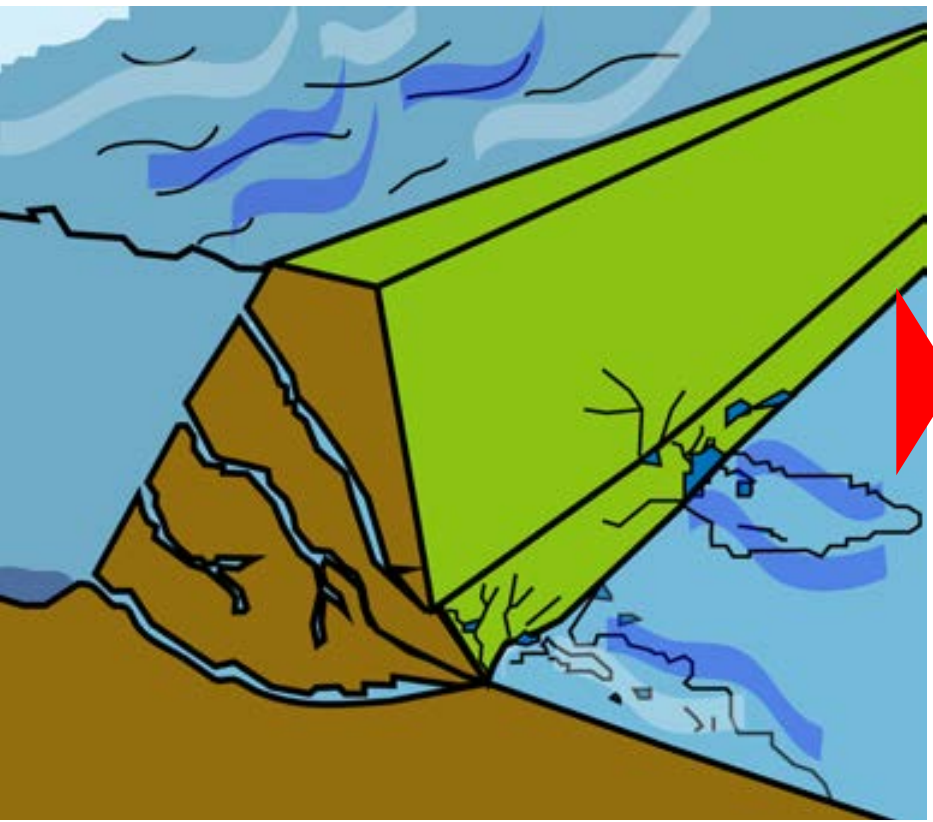


もしも・^{てんけん}点検・^{ほしゅう}補修をしないと・

■もしも、^{ていぼう}堤防にヒビがあった場合、そのままにすると^{こうずい}洪水で^{ていぼう}ヒビから水が^{こわ}堤防入り、^{こわ}壊れてしまうことがあります。

^{ていぼう}ヒビから水が入り^{ようす}堤防が弱くなっている様子

^{ていぼう}堤防が^{こわ}壊れ、^{こうずい}洪水があふれ^{しんすい}浸水している様子



川にゴミを捨てないで！

■川はゴミ箱ではありません！！川が汚れるだけでなく、海まで流れていくため、多くの生き物が困ることになります。



川をきれいにする活動

■地域のみなさんの協力きょうりょくで川をきれいかつどうにしております。稲田
小学校のみなさんにも稲田橋付近はなに花うを植えてもらっています。

平成30年度 稲田橋花いっぱい活動かつどう 稲田小学校6年生による花植えの様子はなう ようす



さいごに！！

■こんな時は注意しよう

- 雨が降り出したとき
- 川が濁りだしたとき
- 川の水の量が増えてきたとき
- 川の上流で大雨の注意報・警報などが出ているとき



こんな時は、堤防の上など、高いところに避難しよう。

■もしもの時は

【おぼれている人を見つけたら】

- 大きな声で助けを呼ぼう
- すぐに119番、110番に連絡しよう
- 川に1人で助けに入らない
- 長い棒につかまらせる
- 水に浮くものを投げてつかまらせる

